### 1 事務事業の概要

_	•		*V1	·/·																							_	_		_				
事	務	事業	美名	心身	障될	煛	• 者系	<b>}</b> 暇	学	罗支	援	事業															-	事 コ <u></u>	務 一	事	業ド	30	04101	00
概			要	知的障	管害の	ある	18歳以	、上及	び特	捌支	援生	学校等	の生	三徒を対	対象に	に、	社会教	対育の	機会	<u></u> ≥≥‡	場を	提供	<b></b> はす	る。										
総合	<u>م</u>	基本	施策	2	生涯	にわ	たる学	習活	動の	推進								主	担	当	部	課	名	文化	ムスオ	ポーツi	部文	て化生	生涯学	習	課			
計画	画	施	策	41	学習	機会	の提供	と環	境づ	くり	の推	進						事	1	業	類		型	任意	事業	S. S.								
		事業	種別	その他	1の事	務事	業	事	業	開	始	年	度	昭和52	年度	€ ~		見	直	し	の	裁	量	市に	上事業	(見直	しの	裁量	<b>:</b> あり					
根	拠	法令	争																															
国土	強革	別化地域	或計画	該当な	こし	交付	金•補助	り 金き	等の申	請	該当	なし	1.1	交付金•	補助	金等	の名称	F.																
対			象	○心身 ○障か	r障害 ぶい者	児・ 成人	生徒地(あす	域活なろ	動… 。)学	·市内 級··	在     知	主の特 内障害	別支 者の	を接学校)あるの	交、 T り18点	盲・歳以	ろう学 上の市	学校等 5内在	■の在 E住、	E学 在	者 勤、	在学	学者											
事	業	目	標	保護者	かず	<b>デラン</b>	ティア	を中	小小と	して	地址	或との	交流	でを深め	り、言	学習 <sup>·</sup>	するこ	ことを	目的	りと	する	0												
事	業	内	容	心身障 活動等 る。	章害児 第多彩	・生	徒地域 域活動	活動  への	は府)参加	チ中地1の機	地区等	学校五と場を	日制提供	連絡 <i>会</i> 共する。	会に その	委託.	、あす動場所	-なろ 行につ	学級	及は、	登録、生	ボラ涯学	ラン学習	ティヤン	アをター	中心にを中心	こ文化	上・ジャカタ	スポー外の旅	-ツ 直設 <sup>*</sup>	・レで事	クリ業を	エーシ 実施し	/ョン .てい

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績	り	评価	(計画	ച∙実	€績(	の差り	星
1日1示12	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の有	無	上差!	異の	要因	分析	f)	
	402	計画値	350	400	450	500	500			要团	団の業	頁型!	(X)		
① 心身障害児・生徒地域活動 事業の参加者数	402		330	400	400	500	500	1	2	3	4	5	6	7	8
事業の参加者数	人	実 績	550	-	=	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルスの予防	ちを行い、全18	8回を計画通り	に実施するこ	とができた。									
	698	計画値	500	600	700	800	800			要团	₹の関	頁型/	(X)		
② 障がい者成人学級(あすな ② ろ学級)参加者数			500	600	700	800	800	1	2	3	4	5	6	7	8
② ろ学級)参加者数	人	実 績	494	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	新型コロナウ ったため計画	イルス感染症 を下回った。	<b>E拡大防止の為</b>	,、1回の活動	参加者数を減	らす等して開	催した。さら	に、同	<b>雨天</b> に	こよ	) 一音	『活重	助が早	上上と	な

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 車業費・人件費等の推移 (単位·円.人)

+ =	・ 業費・人件費等の雅	ערי					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業							
	当 初 予 算 額	1, 358, 000	1, 289, 000	1, 312, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	293, 000	432, 000	410,000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 065, 000	857, 000	902, 000	0	0	0
	予 算 現 額	1, 358, 000	1, 289, 000	0	0	0	0
	決 算 額	337, 058	992, 283	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	156, 000	432, 000	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	181, 058	560, 283	0	0	0	0
	執 行 率	24.8%	77.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件							
	職 員 数	1.12	1.36				
	職員人件費	8, 774, 984	10, 885, 674				
月	額制会計年度任用職員数	0	0				
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0				
	経費)						
	間 接 経 費	246, 964	276, 425				
	総コスト	9, 359, 006	12, 154, 382	0	0	0	0

### 5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	
1 3 千及天順(100)	R 3年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 1回 ※あすなろニュースの発行2回 ▽心身障害児・生徒地域活動 9回実施予定のところ5回実施 延べ参加者数 138人	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から両事業とも、参加者の安心・安全を第一に考慮しながら、会場に集まり一部活動することができた。また、あすなろ学級では、あすなろニュースを令和3年10月と令和4年1月に発行するとともに、学級生が自宅で作成した作品をWaiWaiフェステイバルへ出展した
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	。   新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部事業を中止した。
	A STATE OF THE STA
□ A 重点化·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	直し 🗌 D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)
R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回	両事業とも、新型コロナウイルス感染症拡大を防止しながら、活動を再開していく。また、感染状況等によっては、対面しないで行える活動を検討していく
	0
R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)   評価内容 B 現状のまま継続
▽   ▽   ▽   ▽   ▽	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら概ね計画通り実施することができ
▽心身障害児・生徒地域活動 全18回実施 延べ参加者数550人	た。
□ A 重点化·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	- 直し □ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し(Action)
K 5年度の具体的な取組(Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
R 5年度の具体的な取組 (Plan)  ▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった 内容を実施し、より幅広い学習機会を提供及び支援していく。
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回 R 6年度における事業の位置付け	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった 内容を実施し、より幅広い学習機会を提供及び支援していく。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった 内容を実施し、より幅広い学習機会を提供及び支援していく。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 心身障害児・生徒地域活動は、委託団体である府中地 区学校五日制連絡会との連携体制を維持していく。
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回 R 6年度における事業の位置付け	両事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった 内容を実施し、より幅広い学習機会を提供及び支援していく。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 心身障害児・生徒地域活動は、委託団体である府中地 区学校五日制連絡会との連携体制を維持していく。 また、あすなろ学級は、定員を超える応募があるため 希望者を受け入れられるような体制を検討していくと
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回 18回 R 6年度における事業の位置付け A 重点化・拡大して継続	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽   □   □   □   □   □   □   □   □   □	画事業とも、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことが出来なかった内容を実施し、より幅広い学習機会を提供及び支援していく。  事業の位置付けの詳細と今後の方向性  心身障害児・生徒地域活動は、委託団体である府中地区学校五日制連絡会との連携体制を維持していく。また、あすなろ学級は、定員を超える応募があるため、希望者を受け入れられるような体制を検討していくとともに、事業の運営を担う市民スタッフ(ボランティア)の確保・新規加入の促進を行っていく。
▽   ▽   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽   ▽   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽   ▽   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽○○   15回   18回   1	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▽○○→   15回   18回	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
▼障がい者成人教室(あすなろ学級)       15回 18回         R 6年度における事業の位置付け         A 重点化・拡大して継続         B 現状のまま継続         1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)         2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)         3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合         D 休止・廃止等       1 休止	事業の位置付けの詳細と今後の方向性

_	怦戍争	· 本	ᆽ						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 4: 当初予算額	年度 決算額	R 5年度 当初予算額
1	01	50	30	10	1538000	心身障害児・者余暇学習支援事業費	1, 289, 000	992, 283	1, 312, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	1, 289, 000	992, 283	1, 312, 000

 記載年月
 令和5年9月

 対象年度
 令和 4年度

1 事務事業の概要

	77	沙子木	<b>47</b> %	<u> </u>																													
事	務『	事業	名	生涯	学習	機会	会創品	出事	業																	事コ	·	务 —	<b>集                                    </b>	4 V * /	304	10200	į
概		;	要	生涯学	習審	議会	の運営	:、生	E涯学	習セ	ンタ	一の管	理運	営(講	<b>捧座等</b>	三の実施	i含む	?) 、	生涯	<b>王学</b> 習	图活即	動を	と担う	人材の	の育品	成と泊	舌用						
総合	基	基本施	策	2	生涯に	こわか	たる学	習活	動の打	推進							主	担	当	部言	果 彳	名	文化ス	スポー	-ツ部	文化	匕生	涯学	習課				
計画		包	策	41	学習村	幾会の	の提供	と環	境づく	くり	の推済	進					事	弟	ŧ	類	<del>1</del>	텣	法定马	事業・	任意	事業	混石	Ē					
	事	<b>事業種</b>	別	主要な	事務	事業		4	事 業	開	始	年 度	平成	戈 5年月	度 ~	,	見	直	し(	のま	烖 量	量	市に真	事業の	一部	を見	直す	上裁量	<b>遣あり</b>	)			
根扌	拠氵	去令	等	社会教	育法	、生	涯学習	振興	Ų法、.	府中	市生	涯学習	審議	会条例	可、府	f中市生	涯学	習セ	ニンク	9-条	例												
国土	強靭·	化地域計	一画	該当あ	りり	交付	金•補」	功金?	等の申	請言	該当7	なし	交付	ˈ金·補月	助金等	等の名称	`																
対			象	市民																													
事	業	目:	標	生涯学 。生涯	習セ 学習	ンタ <sup>、</sup> ボラ	ーにお ンティ	いてア・	は、生涯	生涯 学習	学習 ファ	の拠点 シリテ	とし	て安定 一・生	三的な 三涯学	*管理運 習サホ	道営及 ペータ	び事 一等	「業道 『の <i>】</i>	重営を 人材の	と行い う育	い、 成及	充実 及び活	したi 用をi	講座に進める	こよ・ る。	って	生涯	学習	の機	会創	出を図	]る
事	業	内	容	管理者 市民と	f制度 の協	によ働に	り市民 より、	ナー 学習	ービス 引成果	の向 の発	上と表の	効率化	を図る生	る。		を行う 、学習 :スティ																	

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値							)差異	
1日1示12	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の律	無	上差り	星の	要因:	分析	)	
。 上海中央 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	413, 106	計画値	220,000	300,000	360,000	420,000	420,000	1	2	要区3	]の数 4	<b>頁型</b> (	<b>※</b> )	7	8
① 生涯学習センター年間延利 用者数	人	実績	309, 287	-	-	-	-		Ŋ						
要因の具体的内容	学習施設及び	体育施設は、	新型コロナウ	'イルス感染症	の影響からの	回復が力強く	進んだ。								
	54, 729	計画値	40,000	49,000	57, 000	65, 000	65, 000	1			]の <b>类</b>	更型( 5	<u>(X)</u>	7	8
② 生涯学習センター講座受講 者数	人	実績	45, 718	-	-	-	-		<sup>2</sup>	3	4	5	<u>ь</u>		8
要因の具体的内容 講座への市民の参加は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が力強く進んだ。															

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

# 4 事業費・人件費等の推移 (単位:円、人)

7	*来質・人忤賀寺の推						(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	351, 722, 000	453, 523, 000	368, 077, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	931, 000	1, 107, 000	1, 122, 000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	72, 000, 000	153, 000, 000	50, 000, 000	0	0	0
	一般財源	278, 791, 000	299, 416, 000	316, 955, 000	0	0	0
	予 算 現 額	373, 269, 000	436, 668, 400	0	0	0	0
	決 算 額	342, 701, 204	434, 477, 411	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	739, 000	763, 000	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	43, 000, 000	0	0	0	0
	一般財源	341, 962, 204	390, 714, 411	0	0	0	0
	執 行 率	91.8%	99. 5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	-費)						
	職員数	1. 92	5. 38				
	職員人件費	15, 042, 829	43, 047, 892				
月	額制会計年度任用職員数	0	0				
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0				
間接	経費)						
	間 接 経 費	423, 366	1, 093, 143				
	総コスト	358, 167, 399	478, 618, 446	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	一直・以告の万到				
R 3年度実績 (Do)		R 3年度評価(Ch	neck)	評価内容 B	現状のまま継続
,129人) ▽分担による施設管理・修繕等の ▽生涯学習サポーター養成講座、 延受講者数 50人)	9実施(488講座、3,373回開催、延受講者数35 9実施(市6件、指148件) 生涯学習ファシリテーター養成講座の開催( 逐・企画講座の実施(延受講者数184人)	館をウづけること めた。 温水プールにおい	により、多くの ては、トップラ 253日の休業が3	講座等を開催し、 イトガラス修繕、 発生した。プール	引の制限を行いながらも、開 市民の学習機会の創出に努 ろ過ポンプ修繕、天井部鉄 休業の影響はあったが、生 いる。
┛ □ □ Δ 重占4		<u>l</u> 直し □ D 休.	ᆙᇡᆘ	P 3年度証価に	
R 4年度の具体的な取組(Pla	<del>_</del>	R 4年度の方向性		1、0千及計画に	· 本 J 、 光 直 U (AUCTOII)
▽指定管理者による教養講座等の		感染症対策に万全	を期しながら、	指定管理者やボラ	ランティア等と連携を行いな
▽第3期の指定管理者候補者選品	・シリテーター・サポーター養成講座の開催	する。	の充実を図るた い、不具合が出	め、第3期目の打 てきている設備等	指定管理者候補者選定を実施 等が複数報告されているため
R 4年度実績 (Do)		R 4年度評価(Ch	neck)	評価内容 B	現状のまま継続
,718人) ▽生涯学習ボランティア入門講座 数568人)	文施(547講座、4,255回開催、延受講者数45 区・企画講座、市民企画講座の実施(延受講者 ーポーター養成講座の開催(延受講者数 63人 件、指87件)				が鮮明となり、前年度と比較 ずることができた。
	<ul><li>L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見</li></ul>			3 4年度評価に基	基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla		R 5年度の方向性		13- 0 FF 0 IT -	ことが田本の知れと知りまし
▽指定管理者による教養講座等の ▽生涯学習ボランティア企画講座					Fや利用者の混乱を招くこと 業を進める。HPをはじめ、IC
	シリテーター・サポーター養成講座の開催 分担による施設管理・修繕等の実施	Tを活用した事業を	ては、センター	の休館を伴うこ。	
	・シリテーター・サポーター養成講座の開催	Tを活用した事業を 施設の管理につい	ては、センター るものを優先的	の休館を伴うことに修繕を行う。	を図る。 となく、利用者の安全安心を
	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施	Tを活用した事業を 施設の管理につい	ては、センター るものを優先的	の休館を伴うこ。	を図る。 たなく、利用者の安全安心を
▽指定管理者と市の適切なリスク	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施	Tを活用した事業を 施設の管理につい	では、センター るものを優先的 事 <b>業の位置</b> 新指定管理者	の休館を伴うこと に修繕を行う。 けけの詳細と今代 でのもとで市民に	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が
▽指定管理者と市の適切なリスク R 6年度における事業の位置(	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施	Tを活用した事業を 施設の管理につい	<b>事業の位置</b> 作 新指き的・ を優先もの を管理する がで率的・ で変わる でであるがである。 でであるが、 でであるが、 でであるが、 でであるが、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	の休館を伴うことに修繕を行う。  けいの詳細と今でで管理者に対した。	を図る。となく、利用者の安全安心をとなく、利用者の安全安心を <b>後の方向性</b> とって魅力的な事業展開が で情報の共有を図り、効 ではなめていく
<ul><li>▽指定管理者と市の適切なリスク</li><li>R 6年度における事業の位置付</li><li>A 重点化・拡大して継続</li><li>B 現状のまま継続</li></ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施	Tを活用した事業を 施設の管理につい	本 本 本 を を を を を を を を を を を を を	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でに変習センタ でに選ューンタ では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	を図る。 となく、利用者の安全安心を  をの方向性 とって魅力的な事業展開が 間で情報の共有を図り、効
<ul><li>▽指定管理者と市の適切なリスク</li><li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li><li>B 現状のまま継続</li><li>1 大幅な見直しは必要な</li></ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でに変習センタ でに選ューンタ では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される
<ul> <li>▼指定管理者と市の適切なリスク</li> <li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li> <li>B 現状のまま継続</li> <li>1 大幅な見直しは必要な</li> <li>2 見直しには法令等の改</li> </ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 ・付け い(右欄に理由を具体的に記載)	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でに変習センタ でに選ューンタ では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される
<ul> <li>▼指定管理者と市の適切なリスク</li> <li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li> <li>B 現状のまま継続</li> <li>1 大幅な見直しは必要な</li> <li>2 見直しには法令等の改</li> </ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 ・付け い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でに変習センタ でに選ューンタ では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される
<ul> <li>▼指定管理者と市の適切なリスク</li> <li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li> <li>B 現状のまま継続</li> <li>1 大幅な見直しは必要な</li> <li>2 見直しには法令等の改</li> <li>3 現状では見直しが不可</li> </ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 ・付け い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載)	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でな施設コーンタ 生化・スポーツタ	を図る。となく、利用者の安全安心をとなく、利用者の安全安心を <b>後の方向性</b> とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される
<ul> <li>▼指定管理者と市の適切なリスク</li> <li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li> <li>B 現状のまま継続</li> <li>1 大幅な見直しは必要な</li> <li>2 見直しには法令等の改</li> <li>3 現状では見直しが不可</li> </ul>	・シリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 ・ (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 能(右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でな施設コーンタ 生化・スポーツタ	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される
<ul> <li>▼指定管理者と市の適切なリスク</li> <li>R 6年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続</li> <li>B 現状のまま継続</li> <li>1 大幅な見直しは必要な</li> <li>2 見直しには法令等の改</li> <li>3 現状では見直しが不可</li> <li>C 見直して継続</li> </ul>	アシリテーター・サポーター養成講座の開催 ・分担による施設管理・修繕等の実施 い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	Tを活用した事業を 施設の管理につい	マール (T d a l m) (T d l	の休館を伴うこ。 に修繕を行う。 けけの詳細と今行 の市と指定の管センタ でな施設コーンタ 生化・スポーツタ	を図る。 となく、利用者の安全安心を をの方向性 とって魅力的な事業展開が間で情報の共有を図り、効 営に努めていく。 一の在り方については、令 置適正化計画が策定される

Ē	件八字		<del>,</del>		1				(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	R 4: 当初予算額	年度 決算額	R 5年度 当初予算額
1	01	50	30	05	1506500	生涯学習審議会運営費	888, 000	695, 984	1, 205, 000
2	01	50	30	05	1509000	負担金 東京都市町村社会教育委員連絡協議会	29, 000	28, 500	29, 000
3	01	50	30	10	1522000	公民館事業運営費	3, 202, 000	2, 313, 238	3, 039, 000
4	01	50	30	25	1591580	利用料金還付金補償料	0	137, 162	
5	01	50	30	25	1591590	施設管理運営費 管理運営業務委託料(債務負担行為解消分)	261, 479, 000	261, 478, 650	276, 100, 000
6	01	50	30	25	1591620	生涯学習センタープール休業補償金	0	487, 386	
7	01	50	30	25	1591900	生涯学習センター指定管理者候補者選定委員会運営費	249, 000	203, 293	
8	01	50	30	25	1592100	学習活動支援費	24, 000	4, 788	19, 000
9	01	50	30	25	1597000	施設管理運営費 諸経費	8, 372, 000	13, 698, 410	5, 295, 000
10	01	50	30	25	1600000	生涯学習センター整備事業費 消防設備改修工事費	89, 300, 000	83, 600, 000	
11	01	50	30	25	1605000	生涯学習センター整備事業費 照明等制御設備改修工事費	19, 000, 000	0	
12	01	50	30	25	1605400	生涯学習センター整備事業費 調査委託料	27, 280, 000	17, 380, 000	3, 190, 000
13	01	50	30	25	1605620	生涯学習センター整備事業費 空気調和設備改修工事費	42, 700, 000	54, 450, 000	70, 800, 000
14	01	50	30	25	1605640	生涯学習センター整備事業費 照明設備改修工事費			7, 400, 000
15	01	50	30	25	1606000	生涯学習センター整備事業費 緊急整備工事費	1, 000, 000	0	1, 000, 000
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						숨 計	453, 523, 000	434, 477, 411	368, 077, 000

 記載年月
 令和5年9月

 対象年度
 令和 4年度

1 事務事業の概要

_	•		木ツ																									_	_		_					_
事	務	事 :	業 名	青少	年音	楽	<b>祭運</b> 2	営事	業																				事 コ <u></u>	務 一	事	業ド		3041	0300	
概			要	青少年	F音楽	祭の	開催																													
総合	슼	基本	施策	2	生涯	にわ	たる学	習活	動の	推進									主	担	当	部	課	名	文化	ごスポ	ピーツ	部二	文化:	生涯学	学習	課				
計画		施	策	41	学習	機会の	の提供	と環	境づ	くり	の推	進							事	Made	業	类	Į.	型	任意	事業										
		事業	種別	その化	也の事	務事	業	哥	事 業	開	始	年	度	昭和	口 6年	连度	$\sim$		見	直	l	の	裁	量	市に	事業	の一	部を	見直	[す裁	量ま	<b>うり</b>				
根	拠	法:	令 等	なし																																٦
国土	強革	別化地	域計画	該当な	まし	交付	金•補	助金等	等の申	請;	該当	iなし	,	交付	廿金・ネ	亅	金等	の名称	尓																	
対				参加文																																
事	業	ŧ E	標	青少年 情操豊	F音楽 豊かな	団体 青少	が一堂 年の健	に会 建全育	会する す成を	こと目的	に。	より、 ナる。	演	奏技	術の	向上	<u>:を</u>	目指す	ナとと	: もに	こ音	楽を	(通)	じた	青少年	年の変	交流の	り場る	とな	ること	- `	また	. 7	音楽を	通じ	C
事	業	美 内	容	市内で楽界を	で活動を代表	して	いる青講評者	∱少年 弁によ	三音楽	団体演奏	こを まにす	対象に対する	こ参う 5講	加を評を	募り、	、 合 だき	<b>含奏</b> (	の部及団体の	及び合 の今後	介唱の 後の活	の部舌動	に分の励	かけ、	とす	頃の る。	練習の	の成界	果を多	発表	する。	ま	た、	演多	奏終了	後は言	至

### 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績							星
1日1水1口	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹	の有	無	上差	異の	要因	分析	(1)	
	31	計画値	31	31	31	31	0.1			要团	引の業	쩿	(X)		
①青少年音楽祭参加団体数	31		31	31	31	31	31	1	2	3	4	5	6	7	8
① 月少 平日 <del>术</del> 示 参加 四 平 数	団体	実 績	24	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルスの影響	撃により令和元	年度と比較し	て応募団体が	少なかったも	のの、事業は	予定と	ビおり	変換	をする	らこと	がて	ぎきた	-0
	2 550	計画値	9, 600	2 400	2 600	2 700	2 700			要团	団の業	型	(X)		
②青少年音楽祭観覧者数	3, 550		2, 600	3, 400	3, 600	3, 700	3, 700	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 月少 十日 <del>术</del> 示	人	実 績	1,893	ı	-	-	-						$\square$		
要因の具体的内容	新型コロナウ め市内施設へ	イルス感染症 のチラシの <b>酉</b>	定対策のため出 己架等PRを見	演者を1団体 合わせたため	50人程度に 計画を下回っ	制限したこと た。	、一般の入場	者に~	ついっ	て開力	場の消	昆雑る	防止	:する	た

(※)要因の類型

4 事業費・人件費等の推移

1 概ね計画通り実施した

R 3年度

- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

R 4年度

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

R 7年度

(単位:円、人)

R 8年度

- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

R 6年度

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

R 5年度

### (事業費) 初予算額 1,770,000 2,011,000 2, 024, 000 0 0 0 国庫支出金 0 0 支 出 金 都 0 0 0 0 0 0 債 市 0 0 0 0 0 0 そ の 他 0 0 0 0 0 0 一般財源 1,770,000 2,011,000 2,024,000 0 0 0 1, 770, 000 2,011,000 0 0 0 予 算 現 額 0 決 額 1, 561, 794 0 0 0 0 算 741 国庫支出金 0 0 0 0 0 0

		都 3	5 出	金	0	0	0	0	0	0
		市		債	0	0	0	0	0	0
		そ	の	他	0	0	0	0	0	0
		— 舟	財	源	741	1, 561, 794	0	0	0	0
	幸	t 1	亍	率	0.0%	77. 7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人	件書	ł)								
	耶	<b>龙</b> _ j	Į	数	0.14	0.94				
	耶	战 員 🧷	人件	費	1, 096, 873	7, 504, 518				
	月客	制会計年	度任用職	貴数	0	0				
	月額	制会計年度	任用職員。	人件費	0	0				
間	接糺	E費)								
	ı	接	経	費	30, 870	190, 566				
		総コニ	スト		1, 128, 484	9, 256, 878	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針	
R 3年度実績(Do)	R 3年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
□ A 重点化·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	] 記直し □ D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)
R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
青少年音楽祭 8月20日 合奏の部 8月21日 合唱の部 会場 府中の森芸術劇場どり一むホール	音楽祭の長時間化を解消するため、効率的に舞台転換を行うなど、適切な時間での運営を心がける。 青少年が音楽活動への意欲を高め、技術の向上につながる事業として、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、安心・安全な開催方法などを含めて運営を検討する。
L R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
8月20日 合奏の部 出演団体数16団体、観覧者1,193人 8月21日 合唱の部 出演団体数 8団体、観覧者700人 会場 府中の森芸術劇場どり一むホール	適切な感染症対策を実施しながらも、実の趣旨である青少年の交流や技術の向上につながるイベントを実施することができた。 演奏順を市が決めることで効率的な舞台転換を行うことができ、実施時間の短縮に繋がった。
□ A 重点化·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	
R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
8月26日 合奏の部 8月27日 合唱の部 会場 府中の森芸術劇場どり一むホール	音楽祭の長時間化を解消するため、出演順を工夫して効率的に舞台転換を行うなど、適切な時間での運営を心がける。 来場者について、出演関係者以外の一般の方も多く参観していただけるよう、広報等を工夫していく。
	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
R 6年度における事業の位置付け	新型コロナウイルス感染症拡大前は参加団体数及び来
A 重点化・拡大して継続	場者数は年々概ね増加傾向にあり、ニーズの高い事業であった。
B 現状のまま継続	目標とする参加団体数を維持しつつ、観覧者を増やす
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)	B Property of the second of th
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小	
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合	
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合         D 休止・廃止等       1 休止	

	情以手	_	ᆽ				D 44		(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 45 当初予算額	年度 決算額	R 5年度 当初予算額
1	01	50	30	10	1533000	青少年音楽祭運営費	2, 011, 000	1, 561, 794	2, 024, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	2, 011, 000	1, 561, 794	2, 024, 000

1 事務事業の概要

	7	ガデオ	V 42 K	74 ×																										
事	務	事 業	名	青少	年団	体育成	奨匠	事業	ŧ														事コ	<b>∓</b> ₹	务 —	F :	業 ド	30	041040	00
概			要	青少年	=音楽[	団体育成	の奨励	劼															-							
総合	<u>.</u>	基本的	拖策	2	生涯に	こわたる	学習泪	5動の丼	推進						主	担当	部	課	名	文化	スポ	一ツ音	羽 文化	化生	涯学	習護	Į.			
計画		施	策	41	学習榜	幾会の提供	供と環	環境づく	くりの	推進					事	業	類	Į	型	任意	事業									
		事業種	重別	その他	1の事	務事業	4	事 業	開如	台 年 月	度 昭	沼和 4年	度 ~		見	直し	, の	裁	量	市に	事業	見直し	_の裁	量	あり					
根:	拠	法 令	等	なし															-											
国土	強靭	9化地域	計画	該当な	: L	交付金∙衤	甫助金	等の申	請該	当なし	交	を付金・補	助金等	の名称																
対			象	市内で	活動	している	青少年	手の音楽	楽団体	Ž.																				
事	業	目	標	団体で	での活動	動を通じ	て、豊	豊かなり	青操と	高い音楽	<b>柴技</b>	術を身に	こつけ、	,青少	年の作	建やか	いな成	長及	をびす	音楽	文化の	向上	を目	指す	0					
事	業	一内	容	青少年 い国内で 。 行事	三文化注 で開催さ い主(	活動事業 される芸 崔者等が	援助/ 術祭 経費	は、市 ・コン の一部	内で恒 クール を負担	፤常的にネ ∕等に参カ !するとネ	舌動加出され	している 演する市 、主催者	る青少 <sup>年</sup> 市内の青 等がす	年の音 青少年 負担す	楽団 音楽  る額	体に対	すし、 こ対し ン引い	市内で、	対象 対象	比施 象経 3 2 分	设での 費の 2 ひ 1 の	発表 2分の 3額(	会等の 1 の 上限	の会 額( 13	· 場使 (上限 万 5	用# {2.7 千P	- 7 万F 円) る	一部 円) を補	を援助を補助する	)して )する

### 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績							異
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹	の律	無	上差り	異の!	要因	分析	( )	
	6	計画値	6	6	6	6	6			要因	]の業	頁型(	(X)		
① 青少年文化活動事業援助団 体数	0		0	Ü	Ü	0	0	1	2	3	4	5	6	7	8
体数	団体	実 績	4	-	-	-	-					$\square$			
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルスの影響	響により対象と	なる演奏会を	実施できない	団体が多かっ	たため								
		計画値								要因	]の業	頁型(	(X)		
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容			-					-							

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

# 古世典 | 川典年の世段

4 事	「業費・人件費等の推	移					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業	費)						
	当 初 予 算 額	696, 000	696, 000	600, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	696, 000	696, 000	600, 000	0	0	0
	予 算 現 額	696, 000	696, 000	0	0	0	0
	決 算 額	191, 919	447, 956	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	191, 919	447, 956	0	0	0	0
	執 行 率	27.6%	64.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件	費)						
	職 員 数	0.09	0. 22				
	職員人件費	705, 133	1, 731, 812				
月	額制会計年度任用職員数	0	0				
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接							
	間 接 経 費	19, 845	43, 976				<u> </u>
	総コスト	916, 897	2, 223, 744	0	0	0	0

R 34年度計算 (O)	5 PDCAサイクルの確認と評	『価▪改善の方針			
2   前中市青少年資本の当務等・コンクール等参加補助金   2   前外の有少年文化開展が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲所で接触するが、漢書事論なし。   R 4年度の具体的な歌越 (Plan)	R 3年度実績(Do)		R 3年度評価(C	heck)	評価内容 B 現状のまま継続
R 4年度の具体的な取組 (Plan)	(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術祭	3団体 ・コンクール等参加補助金 0団体	0		
R 4年度の具体的な取組 (Plan) (1) 青少年文化活動学表提問 7団体 (2) 前中市青少年団体の美術帝・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前中で活動する事か中の文化活動の発表に係る使用料の一部を提助する (2) 前中の青少年団体の全機体の大会へ参加する場合、予算の範囲内 で提携する。 R 4年度課値 (Oneck) 評価内容 B 現状のよま排解 (1) 前で活動する表現し 4団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (1) 前やで記動する表の少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 前水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (1) 前やで記動する音が多な経過から表現を一部の一部を提加する。 (2) 前水の青少年と化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (3) 青少年文化活動学変更助及が利中市青少年団体の萎縮条 「投動する。 (4) 市水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (2) 前水のまま経統 (3) 大幅な大して継続 (4) 大幅な大して継続 (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (5) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (7) 東京の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の主意が表現していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 中が立めが表現していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東					上国が保ツ八石・参加りる勿口、 「昇り耙四円
R 4年度の具体的な取組 (Plan) (1) 青少年文化活動学表提問 7団体 (2) 前中市青少年団体の美術帝・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前中で活動する事か中の文化活動の発表に係る使用料の一部を提助する (2) 前中の青少年団体の全機体の大会へ参加する場合、予算の範囲内 で提携する。 R 4年度課値 (Oneck) 評価内容 B 現状のよま排解 (1) 前で活動する表現し 4団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (1) 前やで記動する表の少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 前水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (1) 前やで記動する音が多な経過から表現を一部の一部を提加する。 (2) 前水の青少年と化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (3) 青少年文化活動学変更助及が利中市青少年団体の萎縮条 「投動する。 (4) 市水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (2) 前水のまま経統 (3) 大幅な大して継続 (4) 大幅な大して継続 (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (5) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (7) 東京の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の主意が表現していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 中が立めが表現していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東					
R 4年度の具体的な取組 (Plan) (1) 青少年文化活動学表提問 7団体 (2) 前中市青少年団体の美術帝・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前中で活動する事か中の文化活動の発表に係る使用料の一部を提助する (2) 前中の青少年団体の全機体の大会へ参加する場合、予算の範囲内 で提携する。 R 4年度課値 (Oneck) 評価内容 B 現状のよま排解 (1) 前で活動する表現し 4団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (1) 前やで記動する表の少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 前水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (1) 前やで記動する音が多な経過から表現を一部の一部を提加する。 (2) 前水の青少年と化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (3) 青少年文化活動学変更助及が利中市青少年団体の萎縮条 「投動する。 (4) 市水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (2) 前水のまま経統 (3) 大幅な大して継続 (4) 大幅な大して継続 (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (5) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (7) 東京の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の主意が表現していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 中が立めが表現していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東					
R 4年度の具体的な取組 (Plan) (1) 青少年文化活動学表提問 7団体 (2) 前中市青少年団体の美術帝・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前中で活動する事か中の文化活動の発表に係る使用料の一部を提助する (2) 前中の青少年団体の全機体の大会へ参加する場合、予算の範囲内 で提携する。 R 4年度課値 (Oneck) 評価内容 B 現状のよま排解 (1) 前で活動する表現し 4団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (1) 前やで記動する表の少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 前水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術奈・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を提加した (2) 前中市青少年団体の美術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (1) 前やで記動する音が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (1) 前やで記動する音が多な経過から表現を一部の一部を提加する。 (2) 前水の青少年と化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (3) 青少年文化活動学変更助及が利中市青少年団体の萎縮条 「投動する。 (4) 市水の青少年で化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (2) 前水のまま経統 (3) 大幅な大して継続 (4) 大幅な大して継続 (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (5) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性 (7) 東京の大会へ参加する場合、子盲の範囲内 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の主意が表現していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下深の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方向性 (7) 中が立めが表現していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東京の方の性で表示していて、引き継ぎ下流の前 (7) 東京の方向性 (7) 東					
(1) 新少年文付活動事業限制、7日体 (2) 肝中市青少年団体の芸術祭・コンタール等参加補助金 2日体 (2) 肝中市青少年団体の芸術祭・コンタール等参加補助金 2日体 (2) 肝中の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子郭の範囲内 (1) 常少年文化活動事業規制。4日体 (2) 肝中の青少年団体が会開機・コンタール等参加補助金 1団体 (1) 常少年文化活動事業規制。4日体 (2) 肝中の青少年団体が会開機・コンタール等参加補助金 1団体 (2) 肝中の青少年団体が会開機・コンタール等参加補助金 1団体 (1) 常少年文化活動事業規制。4日体 (2) 肝中の青少年団体が会開機・コンタール等参加補助金 2団体 (1) 常か年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明した。 (1) 常か年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明した。 (2) 肝中の青少年団体が会開機・コンタール等参加補助金 2団体 (1) 市内で活動する青少年文化活動の発表に係る使用料の一部を提明した。 (2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する「(2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する。 (1) 市内で活動する青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する「(2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する。 (2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する「(2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する「(2) 市内の青少年文化活動・発表に係る使用料の一部を提明する。 (1) 市内で活動する青少年文化活動・発表が入会へ参加すると提明するで提出する情報と今後の方向性 ・カンド文化活動・発表制を表していて、引き発音・解の範囲がで提出する。また、ようの参加補助を注いついて、引き発音・解の範囲がで提出する。また、より参わ的な事業になるよう、両事業の交付要綱について、通道発展していて、 (2) 中の青少年で提出する特別を表していて、第1を発生を解析していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表していて、第1を表しましていて、第1を表していている。 は、第1を表していている。 第1を表していて、第1を表していて、第1を表していている。 は、第1を表していている。 は、第1を表している。 は、第1を表していている。 は、第1を表している。 は、	□ A 重点f	L·拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	直し □ D 休	止·廃止	R 3年度評価に基づく見直し (Action)
2 日本					
R 4年度業績 (Do)  R 4年度業績 (Do)  R 4年度課価 (Check) 評価内容 B 現状の主主総統  (1) 青ケ年文化恐動の発表に係る使用料の一部を援助した  (2) 用中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 1団体  (2) 用中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 2 団体  (1) 前力で活動する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。  R 5年度の具体的な取組 (Plan)  (1) 青ケ年文化活体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。  (2) 前中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 2 団体  (2) 前中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 2 団体  (2) 前中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 2 団体  (2) 前中市青少年団体の支情祭・コンクール等参加補助金 2 団体  (2) 前中の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 前内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 前内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 前内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 前内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会、参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会、参加する場合、子童の範囲内で提助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会、参加する場合、子童の範囲内で関助する。  (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会・参加する場合、子童の範囲内で関助する。  (3) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の範囲内で対象が表別を通り会に対象が表別を通りままれている。  (4) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の信息が表別を通り表別を発展している。  (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (4) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (5) 市内では対象を受ける。  (5) 東京の位置付けの詳細と今後の方向性  (5) 市内では対象を受ける。  (5) 中のでは、自身に対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を			0		
(1) 南少年文化活動事業提助 4回体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (1) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (3) 市内で活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化活動事業提助及び所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 市内の青少年文化活動が多声やの交化活動の発表に係る使用料の一部を援助する。(2) 市内の青少年文化活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する場合に表づく見重している。(2) 市内の青少年文化団体が全国技術の大会に関する青少年の文化活動を表示して、引き続きる中で展示して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、				年又化団体から	E 国規模の大会へ参加する場合、
(1) 南少年文化活動事業提助 4回体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (1) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (3) 市内で活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化活動事業提助及び所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 市内の青少年文化活動が多声やの交化活動の発表に係る使用料の一部を援助する。(2) 市内の青少年文化活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する場合に表づく見重している。(2) 市内の青少年文化団体が全国技術の大会に関する青少年の文化活動を表示して、引き続きる中で展示して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、					
(1) 南少年文化活動事業提助 4回体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (1) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (3) 市内で活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化活動事業提助及び所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 市内の青少年文化活動が多声やの交化活動の発表に係る使用料の一部を援助する。(2) 市内の青少年文化活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する場合に表づく見重している。(2) 市内の青少年文化団体が全国技術の大会に関する青少年の文化活動を表示して、引き続きる中で展示して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、					
(1) 南少年文化活動事業提助 4回体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 1団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (1) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を援助した。 (3) 市内で活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する青少年文化活動事業提助及び所中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 市内の青少年文化活動が多声やの交化活動の発表に係る使用料の一部を援助する。(2) 市内の青少年文化活動する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する場合に表づく見重している。(2) 市内の青少年文化団体が全国技術の大会に関する青少年の文化活動を表示して、引き続きる中で展示して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、					
(2) 府中市菁少年団体の芸術祭・ランクール等参加補助金 1団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一部を接助した。					
# 8 を接助した。    R 5年度の具体的な取組(Plan				, - 14- 1 -	
R 5年度の具体的な取組 (Plan)         R 5年度の方向性 (Plan)           (1) 青少年文化活動事業援助 4 団体 (2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2 団体 で援助する。				平义16凹体//-	上国
R 5年度の具体的な取組 (Plan)         R 5年度の方向性 (Plan)           (1) 青少年文化活動事業援助 4 団体 (2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2 団体 で援助する。					
R 5年度の具体的な取組 (Plan)         R 5年度の方向性 (Plan)           (1) 青少年文化活動事業援助 4 団体 (2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2 団体 で援助する。					
R 5年度の具体的な取組 (Plan)         R 5年度の方向性 (Plan)           (1) 青少年文化活動事業援助 4 団体 (2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2 団体 で援助する。					
(1) 青少年文化活動事業援助 4日体 (2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する。 (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する。	□ A 重点f	ヒ・拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	直し □ D 休	止•廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
(2) 府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金 2団体       *(2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する。         (2) 市内の青少年文化団体が全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内で援助する。         事業の位置付けの詳細と今後の方向性         本 重点化・拡大して継続       ****        現状のまま継続       ****        1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)       ****        2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に建由を具体的に記載)       ***       ****        3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)       ***       ****        2 他事業との整理・統合       ***       ****        1 休止       ***       ***	R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)		_ : - :	
で援助する。         事業の位置付けの詳細と今後の方向性         A 重点化・拡大して継続	(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術祭	4団体 ミ・コンクール等参加補助金 2団体	0		
A 重点化・拡大して継続				年文化団体が会	全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内
A 重点化・拡大して継続					
A 重点化・拡大して継続					
A 重点化・拡大して継続					
A 重点化・拡大して継続			-	1	
B       現状のまま継続         1       大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)         2       見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)         3       現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C       見直して継続         1       見直し・縮小         2       他事業との整理・統合         D       休止・廃止等         1       休止         2       廃止		寸け			
B 現状のまま継続       1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)         2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)         3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合         D 休止・廃止等       1 休止         2 廃止       1	A 重点化・拡大して継続			・コンクー	レ等参加補助金について、引き続き予算の範
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)         3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合         D 休止・廃止等       1 休止         2 廃止       1	B 現状のまま継続		_ D	また、よりす	効果的な事業になるよう、両事業の交付要綱
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)         C 見直して継続       1 見直し・縮小         2 他事業との整理・統合         D 休止・廃止等       1 休止         2 廃止       1	1 大幅な見直しは必要な	い(右欄に理由を具体的に記載)	l R		
C 見直して継続     1 見直し・縮小       2 他事業との整理・統合       D 休止・廃止等     1 休止       2 廃止     1	2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
2 他事業との整理・統合       D 休止・廃止等     1 休止       2 廃止					
D 休止·廃止等  1 休止 2 廃止	3 現状では見直しが不可				
2 廃止		能(右欄に理由を具体的に記載)		_	
		能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小		-	
3 完了	C 見直して継続	能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	1		
	C 見直して継続	能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 1 休止	1		

<u> </u>	情以手	· ~	ᆓ						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 45 当初予算額	年度 決算額	R 5年度 当初予算額
1	01	50	30	10	1531000	青少年団体育成奨励費	426, 000	312, 956	330, 000
2	01	50	30	10	1548500	補助金 青少年団体大会参加	270, 000	135, 000	270, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	696, 000	447, 956	600, 000

 記載年月
 令和5年9月

 対象年度
 令和 4年度

1 事務事業の概要

事者	务事 業	名	中央図書館運営事業     事務事業コード       30420100					
概		要	地域の方々の情報拠点として、様々な図書館サービスを展開する。					
総合	基本的	策	2       生涯にわたる学習活動の推進         主担当部課名       文化スポーツ部図書館					
計画		策	42   図書館サービスの充実					
	事業種	匑	主要な事務事業 事業開始年度 昭和36年度 ~ 見直しの裁量 市に事業見直しの裁量あり					
根抽	処法令	等	図書館法、府中市立図書館条例、府中市立図書館条例施行規則、府中市立図書館資料の収集の関する要綱					
国土引	<b>金靭化地域</b>	計画	該当なし 交付金・補助金等の申請 該当なし 交付金・補助金等の名称					
対		象	全市民及び市内在勤・在学者、相互利用者(国分寺・八王子・多摩・日野・町田・調布・稲城・国立・小金井各市民)					
事	業目	標	より多くの方々に中央図書館を活用していただき、読書や情報収集、学習等、利用者の様々な欲求に応えること。					
事	業内	▼ 内 容   ▽図書館資料の選書・収集、利用者への貸出し・返却、書架整理、蔵書管理(蔵書点検を含む) ▽利用者登録及び更新等 ▽特集展示の企画・運営 ▽市主催の講演会・講座等の企画・運営 ▽ P F I 事業者との調整 ▽ リクエスト・予約の選書及び他自治体・大学等への借用依頼 ▽地域資料のデジタル化						

### 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異 の有無と差異の要因分析)							Ę
1日1示12	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の律	無と	:差	星の!	要因·	分析	.)	
	350, 000	計画値	230,000	375,000	400,000	420,000	420,000		_	要因	の業	[型(	<b>X</b> )		
① 中央図書館貸出利用者数	550, 550		200,000	010,000	100,000	120,000	120,000	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実 績	201, 418	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	目標値は下回	標値は下回ったものの、休館期間中も10月から1月末まで臨時窓口を開設するなど、概ね計画どおり事業を行った。													
	89.2 計画値 90 90 90 90							要因の類型(※)							
②図書館利用者満足度	09. 2		90	90	90	90	90	1	2	3	4	5	6	7	8
❷ 四自邱47/17·日   剛尺尺	%	実 績	89. 2	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	<b>内容</b> 目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数値だった。														

(※)要因の類型

4 事業費・人件費等の推移

月額制会計年度任用職員数

月額制会計年度任用職員人件費

間 接 経 費

総コスト

(間接経費)

1 概ね計画通り実施した

R 3年度

- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

R 4年度

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

3. 1

10, 070, 945

2, 270, 379

86, 906, 881

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

0

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

R 7年度

(単位:円、人) R 8年度

- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

R 6年度

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

R 5年度

### (事業費) 初予算額 16, 548, 000 25, 196, 000 7,602,000 0 0 0 国庫支出金 0 0 都 支 出 金 0 0 0 0 0 0 債 0 市 0 0 0 0 0 そ の 他 0 0 498,000 786,000 996,000 0 般 財源 16, 050, 000 24, 410, 000 6,606,000 0 0 0 0 0 0 予 算 現 額 16, 531, 000 24, 488, 000 0 決 額 22, 961, 009 0 0 0 0 算 15, 021, 024 国庫支出 0 0 0 金 0 0 0 支 出 0 0 0 0 0 0 都 市 債 0 0 0 0 0 0 そ の 5, 598, 858 0 0 0 0 他 844, 241 般 財 源 14, 176, 783 17, 362, 151 0 0 0 0 執 行 率 90.9% 93.8% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% (人件費) 職 員 数 7.60 6.15 職員人件費 59, 544, 533 49, 195, 824

0

3.5

11, 263, 406

84, 039, 351

619, 112

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の万針				
R 3年度実績 (Do)		R 3年度評価(C	heck)	評価内容 B	現状のまま継続
▽蔵書数 1,028,886冊 ▽図書消毒機の設置 ▽全館共通展示 ▽「科学あそび」等の講演会の9 ▽東京オリンピック・パラリンと ▽図書館開館60周年記念事業の	<sup>ピ</sup> ックに関する特集コーナーの実施	板を設置すること けた。 ▽中央図書館3階 ▽講演会・講座に 回の講演会につい	により、間引き と4階に図書消 ついては感染症 ではオンライン 周年記念事業で	はしていた座席数 当毒機を設置した E拡大防止対策を が形式でも実施し では、児童やYA	<ul><li>施しながら5回実施し、内3</li></ul>
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	i 直し □ D 休	止・廃止	R 3年度評価I	に基づく見直し (Action)
R 4年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 4年度の方向性	生 (Plan)		
▽感染症拡大防止防止対策を講し ▽図書資料の選書や寄贈による ▽全館共通展示の実施 ▽令和5 年3月の再開館記念イへ ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施	Z集 ベントの実施	全安心かつ魅力あ ▽令和5年3月の ▽貴重な地域資料 の利用を促進する	る事業を実施す リニューアルオ をデジタル化す 。 おいて、府中市	¯る。 ├一プンにあわせ ¯ることにより、	つつ、現行の事業は継続し、安 ・、記念イベントを実施する。 次世代への継承や閲覧・研究 ・ビスに係る点検・評価の下地
R 4年度実績 (Do)		R 4年度評価 (C	heck)	延価内突 R	現状のまま継続
▽令和4年10月から令和5年2月末ため休館 ▽蔵書数 1,041,380冊 ▽全館共通展示 ▽「科学あそび」等の講演会の9 ▽中央図書館リニューアルオーフ ▽貴重な地域資料のデジタル化に	『ン記念イベントの実施 □向けた権利移転等の実施 ☑図書館のサービスに係る点検・評価の下地作	▽前年度と同様、 ク着用の励行なと のため休館したが ターに臨時窓時に のポストを臨時に	閲覧席やカウン 、 、新型コロナ原 、から令和5年 1、令和4年10 、設置した。また 設置し、利用者	ターへのアクリ メ 楽 上 シ リ カ カ シ ト の 大 の よ り 月 シ る り 日 ま で ち り に 、 ち に で ち り に 、 で ち に に で も に で ち に に で ら ち に に に に に に に に に に に に に	ル板の設置や手指消毒・マス 対策に努めた。 が施設の改修及びシステム入替 1月31日まで、中央文化セン は保健センターに資料返却用
┛ ┗ □ Δ 重占4	ヒ・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	+		D 45 55 75 75	サベノロボエ (4)
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	直し □ D 休	止・廃止 Ⅰ	R 4年度評価に	:基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組(Pla		R 5年度の方向	生 (Plan)		
<u> </u>	m) ビスの実施 Z集	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ 館」の周知を行う ▽貴重な地域資料 の利用を促進する	生 (Plan) ニューアルオー など、利用者の をデジタル化す 。 おいて、府中市	-プンにあわせて D増加に努める。 -ることにより、	開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 -ビスに係る点検・評価の下地
R 5年度の具体的な取組 (Pla ▽感染症拡大防止対策を講じたサ ▽図書資料の選書や寄贈による収 ▽全館共通展示の実施 ▽1市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施	n) ビスの実施 Z集 <sup>-</sup> ジタル化	R 5年度の方向れ ▽令和5年3月のリ 館」の周知を行う ▽貴重な地域する ○ 図書館協議会に	生(Plan) ニューアルオー など、利用者の をデジタル化す 。 おいて、府中市 ける。	-プンにあわせて D増加に努める。 -ることにより、 可立図書館のサー	開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) ビスの実施 Z集 <sup>-</sup> ジタル化	R 5年度の方向れ ▽令和5年3月のリ 館」の周知を行う ▽貴重な地域する ○ 図書館協議会に	生 (Plan) ニューアルオーなど、利用者のをデジタル化す。 おいて、府中市はする。	-プンにあわせて D増加に努める。 -ることにより、 可立図書館のサー	開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) ビスの実施 Z集 <sup>-</sup> ジタル化	R 5年度の方向れ ▽令和5年3月のリ 館」の周知を行う ▽貴重な地域する ○ 図書館協議会に	生 (Plan) ニューアルオーなど、ジタル化する。 おいて、 ・おいて、 ・おいて、 ・おいて、 ・おいて、 ・まする。  事業の位置化 ・女性の ・女性の ・女性の ・女性の ・女性の ・女性の ・女性の ・女性の	ープンにあわせて D増加に努める。 一ることにより、 可立図書館のサー <b>対けの詳細と今</b> へ、読書をみるう の分野に収集、利り 最書・収集、利り	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 <b>*後の方向性</b> みたいという基本的な欲求に 資料及び情報の提供を行うた 田者への貸出し・返却、書架
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 Z集 - ジタル化	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	生 (Plan)  ニュアルオーの ニュビ、ジタル 所中市の を。おいて、 家はいる。  事業の位置 生涯し、変数 といる。  を 選挙 といる。  ・ 変数 を でいる を 変数 では、 でいる を 変数 では、 でいる を 変数 できる。 を できる。	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 <b>*後の方向性</b> みたいという基本的な欲求に 資料及び情報の提供を行うた
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 Z集 - ジタル化 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R 5年度の方向れ ▽令和5年3月のリ 館」の周知を行う ▽貴重な地域する ○ 図書館協議会に	生 (Plan)  ニュアルオーの ニュビ、ジタル 所中市の を。おいて、 家はいる。  事業の位置 生涯し、変数 といる。  を 選挙 といる。  ・ 変数 を でいる を 変数 では、 でいる を 変数 では、 でいる を 変数 できる。 を できる。	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 2集 - ジタル化 - 対け - い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	<ul> <li>(Plan)</li> <li>ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 2集 - ジタル化  対け  い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載)	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	<ul> <li>(Plan)</li> <li>ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 2集 - ジタル化 - 対け - い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	<ul> <li>(Plan)</li> <li>ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 2集 - デジタル化  - 対け  い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載)  1 見直し・縮小	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	<ul> <li>(Plan)</li> <li>ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新
R 5年度の具体的な取組 (Plate	n) - ービスの実施 2集 - デジタル化  ・ (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	R 5年度の方向↑ ▽令和5年3月のリ館」の周知を域での周知を収進する ▽利用館を促進する ▽図書館協議会に作りについて審議	<ul> <li>(Plan)</li> <li>ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ープンにあわせての増加に努める。こることにより、こ立図書館のサーケー 読書をたるり、こうが野に収集する。とは、利力を選書を表しています。とは、利力を関する。とは、一方が関係を表しています。というない。	「開始した「ふちゅう電子図書 次世代への継承や閲覧・研究 - ビスに係る点検・評価の下地 ・後の方向性 みたいという基本的な欲求に 資料への貸業者の提供を行うた 用者への貸業者が連携し、よ か、市と事業と、よ ふちゅう電子図書館などの新

	14/25				事 業		R 4:	年度	R 5年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1558960	図書館協議会運営費	250, 000	243, 067	367, 000
2	01	50	30	15	1560000	中央図書館運営費	20, 924, 000	18, 798, 462	6, 200, 000
3	01	50	30	15	1561500	図書資料貸出推進事業費	3, 987, 000	3, 884, 980	
4	01	50	30	15	1572000	負担金 日本図書館協会	23, 000	23, 000	23, 000
5	01	50	30	15	1573000	負担金 東京都市町村立図書館長協議会	12,000	11, 500	12,000
6	01	50	30	15	1577100	中央図書館整備事業費 緊急整備工事費			1,000,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	25, 196, 000	22, 961, 009	7, 602, 000

### 1 事務事業の概要

事	務	事業	業 名	中央	事務事業       コード						200												
概			要	中央図	図書館の複合	施設整個	備等事業	費の債務負	担行	為解消分													
総合	4	基本	施策	2	2 生涯にわたる学習活動の推進						柮	担:	当 音	祁 課	名	文化スポーツ部	『 図書	館					
計画		施	策	42	42 図書館サービスの充実						事	業	ŧ	類	型	任意事業							
	- 4	事業	種別	その化	也の事務事業		事業限	引始 年	度平	区成19年度 ~	~	見	直	l σ.	)裁	量	市に事業見直し	_の裁	量あり				
根	拠	法(	令等	図書館	i法、府中市	立図書館	館条例、	府中市立区	書館	条例施行規則	W.						-						
国土	強靭	9化地均	域計画	該当な	なし 交付金	•補助金	等の申請	該当なし	交	·付金·補助金	等の名称												
対			象	府中市	5立中央図書	館																	
事	業	目	標	民間活 足・向	舌力を活用し 可上させる。	、効率的	的な施設	運営を行う	ことに	により、利用	用者に気	持ち	よく	図書:	館を	数多	く利用していた	だき、	読書の	楽しさ	マやこ	学習意欲	欠を満
事	業	一内	容	・資料を選出している。	そ図書館の貸書館所蔵資料 書館所蔵資料 中の購入・受 座・特集展示 習室等の利用。 设管理	の予約 入処理 等事業(	加理及び	他 白 治 体 盆		本の装備等													

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
担保力	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹	の有	無	上差	異の	要因	分析	)	
	85	計画値	85	95	105	110	110			要因	の数	頁型(	(X)		
① 講座・イベント等開催回数			00	90	100	110	110	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 冊庄 · 1 · ▼ 1 · → 川龍四数	回	実 績	50	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	10月から2月ラ	末まで休館し	たため、回数に	は目標を下回っ	ったが、開館中	中は予定どおり	事業を実施し	た。							
		計画値								要因	の数	頁型(	(X)		
		可凹凹						1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容		-	-	-	-	-					-				

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	$\top$
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 東半典 | 川井笠の世谷 (当4:10

4 事	「業費・人件費等の推						(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当初予算額	666, 594, 000	967, 456, 000	662, 243, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	201, 500, 000	0	0	0	0
	その他	9, 000, 000	0	0	0	0	0
	一般財源	657, 594, 000	765, 956, 000	662, 243, 000	0	0	0
	予算現額	666, 539, 000	968, 164, 000	0	0	0	0
	決 算 額	666, 533, 224	968, 161, 611	0	0	0	0
	国庫支出金	0	11, 582, 000	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	177, 300, 000	0	0	0	0
	その他	8, 000, 000	0	0	0	0	0
	一般財源	658, 533, 224	779, 279, 611	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	費)		-				
	職 員 数	3. 50	6. 15				
	職員人件費	27, 421, 825	49, 195, 824				
月	額制会計年度任用職員数	1	2. 5				
月	額制会計年度任用職員人件費	3, 248, 692	8, 045, 290				
间接	<u>経費</u> )						
	間接経費	0	554, 955				
	総コスト	697, 203, 741	1, 025, 957, 680	0	0	0	0

5	PDCA#1	(クルの確認と評	価・改善の方針			
R	3年度実績	(Do)		R 3年度評価(	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
$\Diamond$	図書館員体縣 特集展示 図	-映画会 1回、1 バツアー 10回、1 使ツアー 2回、1 図書 39回/視聴覚 子選定委員会 1 E	8人 3人 21回	染症拡大防止対策	策を施しながら実 役PFI選定委員	:人員を減らしたり、換気を徹底するなど、感施した。 会を実施し事業者の選定を行い、1月に事業
		□▲壬4	└ 忙士 ☑ ◘ ◘ ◘ ₩ø士士₩⊄ ☐ ○ ■	<u> </u>	F.L. De .L.	D 0ケウ部体に甘るノ日本 L /A・+:・・・)
D	4年度の見	▼ □ A 里点1 本的な取組(Pla	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	■ L D 14 R 4年度の方向	t止·廃止 tt (Plan)	R 3年度評価に基づく見直し (Action)
$\nabla$	感染症拡大防	ち止対策を講じたっ	ベントの実施	▽国や都の動向に	<u></u> こ注視し、適切な	新型コロナ感染症拡大防止対策を施しながら
$\nabla$	図書館ガイト 図書館員体駅 特集展示 図	回/バリアフリー ドツアー 15回/検 歳ツアー 5回/図書 3書 45回/視聴覚 書館の次期運営に応	索機案内 40回 背館探検隊 3回	令和4年10月か ▽中央図書館の長	δ業務の調整を行 いらの次期PFI 長期休館期間にお	うなど新たな運営体制に向けた準備を進め、 事業を予定通り開始する。 いて、中央図書館臨時窓口を中央文化センタ するなど、利用者の不便の軽減を図る。
R	4年度実績	(Do)		R 4年度評価(	Check)	<b>評価内容</b> B 現状のまま継続
$\stackrel{\vee}{\sim}$			7人 9人	館ガイドツアーや	や特集展示の実施	令和5年2月まで休館だったこともあり、図書 5回数、参加人数は減少したが、図書館体験ツ 施回数、参加人数ともに増加した。
	V	<b>→</b> □ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	- 直し □ D 休	た は ・ 廃止 F	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R	5年度の具体	本的な取組(Pla	n)	R 5年度の方向	性 (Plan)	
$\Diamond$	図書館ガイト 図書館員体駅 特集展示 図	回/バリアフリー ドツアー 15回/検 歳ツアー 5回/図書 日書 45回/視聴党 行在する市民会館ペ	索機案内 40回 臂館探検隊 3回	、各種イベントを	と実施する。	新型コロナ感染症拡大防止対策を施しながら 活者間のコラボ企画などを実施し、来館者の増
				•	1	
		ナる事業の位置化	寸け	I		けけの詳細と今後の方向性
		広大して継続			なサービスをとれて、施設	)リニューアルオープンに伴い開始した新た :周知しながら現行のサービスを継続すると なの特徴を活かして市民会館、レストランと
В	現状のまる			D	連携するなど用者の増加に	で、さらに魅力ある企画を行い、来館者・利 こつなげていく。
			い(右欄に理由を具体的に記載)	В		
	- '		正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
			能(右欄に理由を具体的に記載)			
С	見直して約	迷続	1 見直し・縮小			
D	<b>从</b> 山 . 岗:	上左	2 他事業との整理・統合 1 休止	1		
ע	休止・廃」	上寺		1		
			2 廃止 3 完了			
			0 71-1	I	1	

	14/24		<del>.</del>		事業		R 44	<b>丰度</b>	R 5年度
	会計	款	項	目	事業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1575000	中央図書館複合施設整備等事業費 管理運営委託料(債務負担行為解消分)	202, 266, 000	202, 265, 202	
2	01	50	30	15	1575500	中央図書館複合施設維持管理運営等事業費 管理運営業務 委託料(債務負担行為解消分)	272, 160, 000	272, 159, 339	611, 964, 000
3	01	50	30	15	1576000	中央図書館複合施設整備等事業費 施設購入費(債務負担行為解消分)	127, 305, 000	127, 304, 639	
4	01	50	30	15	1576600	中央図書館複合施設維持管理運営等事業費 施設整備費 ( 債務負担行為解消分)	365, 725, 000	366, 432, 431	50, 279, 000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	967, 456, 000	968, 161, 611	662, 243, 000

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和 4年度

1 事務事業の概要

事系	务事	事業	名	図書	書館維持管理事業								事務事業 コード 30420300		
概			要	図書館	官施設	の清掃及び設	備保守等	を実施する。							•
総合	基	本旅	拖策	2	生涯	にわたる学習	舌動の推進	進		主	担	当	部部	₹ 名	文化スポーツ部 図書館
総合 計画	j 抗	<del>ī</del>	策	42	図書館	館サービスの	充実			事	4	業	類	型	任意事業
		業種	重別	その他	也の事	務事業	事業開	引始 年 度	昭和36年度 ~	見	直	し	の表	₹量	市に事業見直しの裁量あり
根抄	匹 法	去令	等	図書館	官法、	府中市立図書	館条例、『	存中市立図書(	館条例施行規則						
国土强	針靭化	化地域	計画	該当な	ほし	交付金•補助金	等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称						
対			象	図書館	官										
事	業	目	標	施設の	り清掃	、施設設備の	定期的な	<b>資査や保守</b> 点	検、機械警備等を行い	、施	直設の	)適 <sup>[</sup>	辺な維	持管	理・利用者の安全確保に努める。
事	業	内	容	▽中5 ▽生涯	央図書 王学習	館の光熱水費 センター図書	館の光熱	水費・清掃費	・管理費等						

	2 夫他計画 夫棋(拍标)																
	指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異 の有無と差異の要因分析)								
	1日1示1口	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹									
			計画値							要因の類型(※				(X)	<del>(</del> )		
١									1	2	3	4	5	6	7	8	
			実 績														
	要因の具体的内容																
ĺ			計画値								要团	団の業	頁型(	(X)			
									1	2	3	4	5	6	7	8	
			実 績														
	要因の具体的内容										- ·						

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 車業費・人件費等の推移 (単位·円.人)

4 事業實・人件實等の推移								
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	
(事業								
	当 初 予 算 額	36, 697, 000	32, 241, 000	42, 028, 000	0	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	その他	115,000	80,000	169, 000	0	0	0	
	一般財源	36, 582, 000	32, 161, 000	41, 859, 000	0	0	0	
	予算現額	36, 722, 000	42, 856, 000	0	0	0	0	
;	決 算額	31, 620, 476	40, 803, 903	0	0	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	その他	132, 831	582, 961	0	0	0	0	
	一般財源	31, 487, 645	40, 220, 942	0	0	0	0	
į	執 行 率	86. 1%	95. 2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(人件								
	職員数	1.30	1.70					
]	職員人件費	10, 185, 249	13, 598, 846					
月	額制会計年度任用職員数	0	0					
	額制会計年度任用職員人件費	0	0					
(間接								
	間接経費	0	109, 066					
	総コスト	41, 805, 725	54, 511, 815	0	0	0	0	

5	PDCAサイクルの確認と	評価・改善の方針			
-	3年度実績(Do)		R 3年度評価(		評価内容 B 現状のまま継続
$\nabla$	'中央図書館の節電及び事業者	館内の清掃、消毒及び換気の実施 への協力依頼・利用者への周知を実施 電及び利用者への周知を実施	拡大防止対策に多 ▽府中市職員エコ	写めた。 コ・アクションフ	当毒液の設置など事業者と連携しながら感染症プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中国書館での節電に取り組んだ。
			┃ 直l. □ D b/	   	R 3年度評価に基づく見直し(Action)
R	4年度の具体的な取組(PI		R 4年度の方向		N 0千度計画に至りて発直し(AOLTOII)
$\nabla$	'国や都の動向に注視しながら	、適切な館内の清掃、消毒及び換気の実施など	▽感染症拡大を防		事業者と連携しながら館内の維持管理を実施す
$\nabla$	染症拡大防止対策に努める。  中央図書館の節電及び事業者  生涯学習センター図書館の節	への協力依頼・利用者への周知 電及び利用者への協力の周知	央図書館及び生涯	<b>王学習センター区</b>	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。 J能なものがあれば今後も事業者と検討してい
R	4年度実績(Do)		R 4年度評価(	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
拉▽	(大防止対策に努めた。 /府中市職員エコ・アクション	消毒液の設置など事業者と連携しながら感染症 プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んだ。	拡大防止対策に多 ▽府中市職員エコ	らめた。 コ・アクションフ もあり、職員には	当毒液の設置など事業者と連携しながら感染症プランに基づき、利用者の理解を得るとともには節電に対する意識を徹底させ中央図書館及び に取り組んだ。
R	□ A 重点 5年度の具体的な取組 (PI	化·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見an)	直し D 付R 5年度の方向・		R 4年度評価に基づく見直し (Action)
	  国や都の動向に注視しながら  染症拡大防止対策に努める。	、適切な館内の清掃、消毒及び換気の実施など	▽感染症拡大を図	方止するため、事	<b>罫業者と連携しながら館内の維持管理を実施す</b>
$\nabla$	'中央図書館の節電及び事業者	への協力依頼・利用者への周知 電及び利用者への協力の周知	央図書館及び生涯	<b>王学習センター区</b>	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 びま館での節電に取り組んでいく。 びままでのがあれば今後も事業者と検討してい
R	6年度における事業の位置	· 4+ (+		事業の位置化	サけの詳細と今後の方向性
	重点化・拡大して継続	7, 61.		第5次府中市	エコアクションプランに基づき、節電に取
	現状のまま継続		_	り組んでいく 依頼する。	、。また、PFI事業者にも取組への協力を
	1 大幅な見直しは必要な	ない(右欄に理由を具体的に記載)	В		
	2 見直しには法令等の改	女正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
	3 現状では見直しが不可	可能(右欄に理由を具体的に記載)			
С	見直して継続	1 見直し・縮小			
				I	
		2 他事業との整理・統合			
D	休止・廃止等	2 他事業との整理・統合     1 休止	1		
D	休止・廃止等		1		

	1 <del>17</del> / (C)				事業		R 44	丰度	R 5年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1568000	施設管理費 管理委託料	1, 528, 000	1, 527, 234	1, 528, 000
2	01	50	30	15	1569000	施設管理費 光熱水費及び燃料費	28, 405, 000	37, 437, 992	37, 949, 000
3	01	50	30	15	1571000	施設管理費 諸経費	2, 308, 000	1, 838, 677	2, 551, 000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	32, 241, 000	40, 803, 903	42, 028, 000

### 1 事務事業の概要

事	務:	事 業	名	<b>区図書館運営事業</b> 事務事業コード	100
概			要	ずの方々の身近な情報拠点として、地域に根ざした図書館サービスを展開する。	
総合	<u> </u>	基本抗	拖策	生涯にわたる学習活動の推進 主担当部課名 文化スポーツ部 図書館	
計画		衐	策	図書館サービスの充実     事業類型     任意事業	
	=	事業科	重別	要な事務事業 事業開始年度 昭和46年度 ~ 見直しの裁量 市に事業見直しの裁量あり	
根:	処	法令	ì等	<b>『</b> 館法、府中市立図書館条例、府中市立図書館条例施行規則、府中市立図書館資料の収集に関する要綱	
国土	強靭	化地域	画信が	当なし <mark>交付金・補助金等の申請</mark> 該当なし <mark>交付金・補助金等の名称</mark>	
対			象	市民及び市内在勤・在学者、相互利用者(国分寺・八王子・多摩・日野・町田・調布・稲城・国立・小金井各市民)	
事	業	目	標	)多くの方々に地区図書館を活用していただき、読書や情報収集、学習等、利用者の様々な欲求に応えること。	
事	業	内	容	文化センター(中央文化センターを除く)、ふるさと府中歴史館及び生涯学習センター内に地区図書館(12館)を設置しており、その うう。 図書館資料の選書・収集、利用者への貸出し・返却、書架整理、蔵書管理(蔵書点検を含む) 刊用者登録及び更新等 時集展示の企画・運営 リクエスト・予約の選書 おはなし会等の運営	)運営

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異							星
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度 R 6年度		R 7年度	凹凹	の有無と差異の要因分析)							
	310,000	計画値	290, 000	330,000	345, 000	360,000	360,000			要团	の数	頁型(	( <u>X</u> )		
① 地区図書館貸出利用者数	310, 000	пые	290,000	330, 000	345,000	300, 000	300, 000	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 地色固自阳县山州/17石 数	人	実 績	308, 171	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	2月に1か月間	休館をしたか	、中央図書館	子体館期間中の	利用者の増加	もあり、目標	値を上回った。	)							
	00.0	計画値			0.0	0.0			要团	の类	頁型(	( <b>※</b> )			
② 図書館利用者満足度	89. 2		90	90	90	90	90	1	2	3	4	5	6	7	8
② 囚責時刊用名 侧定反	%	実 績	89. 2	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	目標値には届	かなかったも	のの、ほぼ近	い数値だった	0					-					

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

### 4 車業費・人件費等の推移 (単位·円.人)

7	・来質・人忤賀寺の推	17					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	82, 022, 000	86, 229, 000	85, 424, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	56,000	3, 149, 000	145, 000	0	0	0
	一般財源	81, 966, 000	83, 080, 000	85, 279, 000	0	0	0
	予 算 現 額	81, 963, 000	85, 697, 000	0	0	0	0
	決 算 額	79, 088, 439	80, 851, 580	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	143, 610	3, 159, 790	0	0	0	0
	一 般 財 源	78, 944, 829	77, 691, 790	0	0	0	0
	執 行 率	96. 5%	94. 3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	-費)						
	職 員 数	1.60	1. 20				
	職員人件費	12, 535, 691	9, 599, 185				
月	額制会計年度任用職員数	11	11				
月	額制会計年度任用職員人件費	35, 735, 612	35, 399, 276				
間接	経費)						
	間 接 経 費	8, 359	782, 716				
	総コスト	127, 368, 101	126, 632, 757	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 3年度実績 (Do)		R 3年度評価(C	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽地区図書館全館の蔵書数 520 ▽全館共通展示 34回 ▽地区館単独事業 9回 参加者 ▽宮町図書館の新庁舎移転につい		がら、座席数を元 ▽感染症拡大防止 実施した。	この状態に近づけ 対策を講じなが	換気の徹底など感染症拡大防止対策を施しなた。 た。 ら、定例のおはなし会、各館でのイベントを ついて、引き続き関係課と検討を行った。
		±. □5.4		
	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見ī		:止·廃止	R 3年度評価に基づく見直し(Action)
R 4年度の具体的な取組 (Pla ▽感染症拡大防止対策を講じたす		R <b>4年度の方向</b> ¶  ▽マスク着用・手		励行やパーテーションの設置、座席の間引き
▽図書消毒機の設置 ▽図書資料等の選書や寄贈による ▽巡回共通展示の実施や地区館 ▽宮町図書館の新庁舎への移転に ▽白糸台図書館のレイアウト変更	5 収集 1 独事業の実施 こついての検討	など感染症拡大防 ▽宮町図書館の新 ▽システム改修に 書館運営を行う。	5止対策を講じる 行庁舎への移転に 2件う2月の休館	
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(C	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽令和5年2月1日から28日まで ▽地区図書館全館の蔵書数 524 ▽全館共通展示 40回 ▽地区館単独事業 13回 参加者 ▽宮町図書館の新庁舎移転につい ▽図書消毒機の設置	, 028冊	み所蔵の雑誌や新 ▽各地区図書館に 徹底の励行や館内 対策を講じた。	f聞を各地区図書 11台ずつ図書消費 Jのパーテーショ	で、中央図書館の休館に伴い、中央図書館の館に振り分けて閲覧可能とした。 事機を設置。また、マスク着用・手指消毒のンの設置、座席の間引きなど感染症拡大防止のいて、引き続き関係課と検討を行った。
□ A 重点f	ヒ・拡大 ☑ B 現状のまま継続 🗌 C 見ī	直し □ D 休	·止·廃止 F	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向	生 (Plan)	
▽感染症拡大防止対策を講じたサ ▽図書資料等の選書や寄贈による ▽巡回共通展示の実施や地区領 ▽宮町図書館の新庁舎への移転に ▽各町区図書館の所在施設のイベ	5収集 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トを実施する。 ▽宮町図書館の新	ディスティッド デア会への移転に	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイベンのいて、引き続き関係課と検討する。 たイベントを実施する。
			古世の仕里/	
R 6年度における事業の位置化	<b>寸け</b>			けいの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続			<ul><li>指し、所在施</li></ul>	L点として、地域に根ざした地区図書館を目 ■設と連携するなど、より魅力ある企画を行 ○、来館者・利用者の増加を図る。また、各
B 現状のまま継続		D	地区館が所在	まする施設の老朽化が進んでいることから、 こついて検討する。
	い(右欄に理由を具体的に記載)	В		
	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)		4	
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
- // /	2 他事業との整理・統合	1		
D 休止・廃止等	1 休止	1		
	2 廃止			
	3 完了			

	1 一八丁			_	事業	<b>又你主业</b> 力	子筒車業々 R 4年度				R 5年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額		
1	01	50	30	15	1561000	地区図書館運営費	86, 229, 000	80, 851, 580	85, 424, 000		
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
						숨 計	86, 229, 000	80, 851, 580	85, 424, 000		

 記載年月
 令和5年9月

 対象年度
 令和 4年度

### 1 事務事業の概要

	コカティ		~~												
事 務	事業			事 務 事 業   コード   30420500											
概		要	何らか 援する	らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、仲介的立場から、必要な情報あるいは資料を提供ないし提示することにより支 する。											
総合	基本的	拖策	2	生涯に	にわたる学	習活動の推	進		主 担 当 部 課 名 文化スポーツ部 図書館						
計画	施	策	42	図書館	館サービス		事	業	# #	顀	型	任意事業			
	事業科	重別	主要な	事務	事業	事 業	開始年月	度 昭和36年度 ~	見	,直し	しの	裁	量	市に事業見直しの裁量あり	
根 拠	法 令	等	図書館	[法、	府中市立図	書館条例、	府中市立図書	書館条例施行規則	-				•		
国土強	靭化地域	計画	該当な	こし	交付金•補助	]金等の申請	蕎 該当なし	交付金・補助金等の名	尓						
対		象	全市民	と市民及び全利用者											
事	業 目	標	利用者	用者の調べたい、学びたいという知的欲求・学習意欲に適切かつ迅速に対応すること。											
事	業 内		▽相談 ▽レン ▽資料	プカウンター、メール、電話等でのレファレンス(調査相談)の対応 P相談内容の記録及び全職員の共有化 Pレファレンスに役立つ講座等の実施 資料の充実に向け選書等 P行政向け新刊案内の作成・配付及び行政向けレファレンスサービスの実施											

### 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異							
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 5年度 R 6年度 R 7年			の有無と差異の要因分析)							
	4, 843	計画値	3, 000	5, 244	5, 344	5, 444	5, 444			要因	の業	頁型(	(X)		
① 市の受けるレファレンス件 数	4,043		3,000	0, 211	0, 011	0, 111	0, 111	1	2	3	4	5	6	7	8
<u>)</u> 数	件	実 績	3, 216	-	-	-	-	$\square$							
要因の具体的内容	10月から2月ラ	10月から2月末まで休館したが、開館期間は通常どおり実施し、目標値を上回った。													
		計画値								要因	の数	頁型(	(X)		
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容		-	-	-		-	-			-	-				

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2.

## 4 事業費・人件費等の推移

( <del>+</del>   11   11   11   11   11   11   11	(単位:円、人)	
---	----------	--

7	・未貫・人件貫守の推						(单位.门、八)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	1, 112, 000	1, 312, 000	1, 278, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 112, 000	1, 312, 000	1, 278, 000	0	0	0
	予 算 現 額	1, 112, 000	1, 312, 000	0	0	0	0
	決 算 額	1, 107, 502	1, 310, 419	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 107, 502	1, 310, 419	0	0	0	0
	執 行 率	99.6%	99.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	費)						
	職 員 数	2.80	2. 60				
	職員人件費	21, 937, 460	20, 798, 235				
月	額制会計年度任用職員数	0.7	0. 5				
月	額制会計年度任用職員人件費	2, 274, 084	1,609,058				
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	198, 885				
	総コスト	25, 319, 046	23, 916, 597	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	福・改善の方針			
R 3年度実績 (Do)		R 3年度評価((	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽レファレンス講座の実施 1回 ▽データベースの利用 448人 ▽職場内でのレファレンス研修の ▽国立国会図書館デジタル資料党 ▽OPAC検索案内 36回、45 <i>)</i>	)実施・都立図書館研修への参加 全信サービス 閲覧利用者 175人	▽レファレンス詩 ▽職場内のレファ	≰座は、感染症拡 ・レンス研修を実	、大対策を施しながら実施した。 E施し、実践的な知識の習得に努めた。
□ A 重点f		L 直し □ D 休	止・廃止	R 3年度評価に基づく見直し (Action)
R 4年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 4年度の方向	生 (Plan)	
知識習得	の実施・都立図書館研修への参加による職員の 計送信サービスのPR及び利用促進 の検索案内			ためのPRを行う。 E施し、引き続き実践的な知識の習得に努める
R 4年度実績 (Do)		R 4年度評価 ((	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽OPACの検索案内 34回 3	後信サービス 閲覧利用者 178人 2人 月までの中央図書館長期休館及び3月のリニュ	5か月間の休館が	あったものの、 ・レンス研修を実	育デジタル資料送信サービス、OPAC検索案内は 多くの方にご利用いただいた。 多たの方にご利用いただいた。 を施し、引き続き実践的な知識の習得に努めた 育のため実施せず。
□ A 重点f	と・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	┃ 直し □ D 休	∵止•廃止 「	R 4年度評価に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向	生 (Plan)	
▽レファレンス講座の実施 ▽データベース利用の促進 ▽職場内でのレファレンス研修の知識習得 ▽国立国会図書館デジタル化資料 ▽OPAC(利用者用検索端末)		<ul><li>▽職場内のレファ</li><li>。</li></ul>	・レンス研修を実	ためのPRを行う。 3施し、引き続き実践的な知識の習得に努める 3書館の利用にもつながるレファレンス講座を
		!	_	
R 6年度における事業の位置(	<b>寸け</b>	ı		けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続			に十分な対応	ヾたい、学びたいという知的欲求・学習意欲 なができるように、職員向け研修の内容の充 ♂書館等が開催するレファレンス研修への職
B 現状のまま継続		D	員の派遣等にた、市で所蔵	こより、職場全体のレベルアップを図る。ま なする地域資料のデジタル化を行うなど、利
1 大幅な見直しは必要な	い(右欄に理由を具体的に記載)	В	用者自身で調	<b>喝べられる環境を整備する。</b>
	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)		4	
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
	a 11 + 116 1 - +1 11 A	•		
	2 他事業との整理・統合	1		
D 休止・廃止等	1 休止	1		
D 休止・廃止等		1		

		本		П	事 業 コード	<b>圣</b> 笛声 <i>举月</i>	R 4年度		R 5年度
	会計	汞	項	目	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1562000	レファレンスサービス事業費	1, 312, 000	1, 310, 419	1, 278, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						숨 計	1, 312, 000	1, 310, 419	1, 278, 000

### 1 事務事業の概要

事	務事	業名	児童	児童・青少年サービス事業 コ ー ド 30420600									30420600					
概		要	要 子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付けて、人生をより豊かにしていただくために様々なサービスを実施する。															
総合	基	本施策	2	生涯にわ	たる学習	活動の推済	焦		È	担当	当部言	果 名	名 文化スポーツ部 図書館					
計画		策	42	図書館サ	ービスの	充実			事	業	類	型	型 任意事業					
	事	業種別	その他	也の事務事	業	事業月	開始 年度	昭和37年度 ~	見	」直し	, の i	裁 量	市に事業見直しの	の裁量あり				
根:	拠法	5 令等	図書館	法、府中	1市立図書	館条例、	府中市立図書	館条例施行規則、	子ども	読書活動	動の推進	生に関	する法律					
国土	強靭化	比域計画	該当な	こし 交付	寸金∙補助釒	金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の	名称									
対		象	全市民	全市民及び全利用者														
事	業	目標	赤ちゃ	たちゃんから中・高校生世代までの子どもたちが、生活のさまざまな場で本を楽しむことができるようにする。														
事	業	内容	▽読書 ▽ 読書 ▽ 等、 ▽ 読み	▽児童・青少年向けの資料の選書・充実 ▽読書の楽しさを伝えるため、児童を対象にしたイベント「おはなし会」や青少年を対象とした「ブックトーク」などの実施 ▽「それいけ!としょかんたんけんたい」、「BOOKS FOR YOU」、「とっておきの本 1さつ 小学生」、「読み聞かせに向く絵本のリスト」等、児童・青少年への推薦図書リストの作成 ▽読み聞かせのやり方を紹介した「読み聞かせハンドブック」の作成・配布 ▽学級貸出制度等、学校や関係部署等との連携														

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異								
担保力	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	可凹凹	の有無と差異の要因分析) 要因の類型(※)								
	3, 100	計画値	2, 900	3, 700	4, 300	4 000	4 000			要因	ẫの≛	頁型(	(X)			
①おはなし会参加人数	3, 100		2, 900	3, 700	4, 300	4, 800	4, 800	1	2	3	4	5	6	7	8	
○ 40年4日 日本 シルバ 数	人	実 績	2, 155	-	-	-	-	$\square$								
要因の具体的内容	施設の期初修	施設の期初修繕・改修工事に伴う中央図書館の休館中も近隣の公共施設など会場を変えて予定どおり実施した。														
	14,000	計画値	計画値 13,000 15,000 15,500 16,000 16,00		16 000			要因	ẫの≛	頁型(	(X)					
② 学級貸出冊数	14, 000		15,000	15,000	15, 500	10,000	10,000	1	2	3	4	5	6	7	8	
	₩	実 績	10, 628	-	=	-	-	$\square$								
要因の具体的内容	2月はシステムの更新に伴い学級貸出を休止したが、他の月は通常どおり実施した。1クラス当たりの貸出冊数は、小学校では増加したが、中学校では減少した。															

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 車業費・人件費等の推移 (単位·円.人)

* 7	・来質・人忤賀寺の推	175					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	:費)						
	当 初 予 算 額	610,000	593, 000	703, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	610,000	593, 000	703, 000	0	0	0
	予 算 現 額	610,000	593, 000	0	0	0	0
	決 算 額	518, 073	512, 614	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	518, 073	512, 614	0	0	0	0
	執 行 率	84. 9%	86.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	-費)						
	職 員 数	1.90	2. 10				
	職員人件費	14, 886, 133	16, 798, 574				
月	額制会計年度任用職員数	2. 5	1				
月	額制会計年度任用職員人件費	8, 121, 730	3, 218, 116				
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	198, 885				
	総コスト	23, 525, 936	20, 728, 189	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	『価・改善の方針							
R 3年度実績 (Do)		R 3年度評価(	Check)	評価内容 B 現状のまま継続				
▽ブックトークよむよむ探検隊 ▽読み聞かせ講習会の実施 5回 ▽おはなしボランティア養成講座 ▽各年齢向けお薦め本リストの作 ▽YAコーナー、YAルームPF	45人 圏の実施 8回 289人 F成・案内	いさい子のための ▽学校でのブック た。 ▽読み聞かせ講習	つおはなし会をを クトークは休止し 冒会及びボランラ	更したが、予定どおり4回実施した。また、ち木止していたが10月より再開した 大止していたが10月より再開した したが、学校への訪問授業や図書館見学を行っ ティア養成講座を実施した。 一を市内中学校の生徒と協働で作成し、館内に				
□ A 重点f	L·拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	直し D d	、止・廃止	R 3年度評価に基づく見直し (Action)				
R 4年度の具体的な取組(Pla	nn)	R 4年度の方向	性 (Plan)					
	Rチラシ等の作成、配付	▽学校でのブック ▽図書館おはなし キルアップ ▽おすすめ本リン	なびボランティア フトーク等のPF レボランティアス ストやYAコーナ	アの積極的な受入れ R 及び実施 ステップアップ講座等によるボランティアのス				
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(		<b>評価内容</b> B 現状のまま継続 令和5年2月まで休館だったが、おはなし会や				
▽読み聞かせ講習会の実施 6 E ▽図書館おはなしボランティアル ▽各年齢向けおすすめ本リストアル ▽YAローナー、YAU、APF ▽令和5年3月の再開館記念イー ① 工作おはなし会 56人 (内人) ②親子DEおはなし会 4人 (名) ③図書館などときイベント (名)	ア/学校でのブックトーク等の実施 0回 □ 80人 ステップアップ講座の実施 8回 320人 ○作成・案内 スチラシ等の作成、配付 ドントの実施 - ども28人) (内子ども22人)	講座等の会場を別に設けるなど、利用者への影響がより少なくなるよう実施した。 ○ 令和5年3月のリニューアルオープンに伴い、記念イベントを実施し、多くの 方に参加いただいた。						
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	直し D d	で止・廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)				
R 5年度の具体的な取組 (Pla	nn)	R 5年度の方向	性 (Plan)					
▽ブックトークよむよむ探検隊 ▽学校職場体験及びボランティア ▽読み聞かせ講習会の実施 ▽図書館おはなしボランティアフ ▽各年齢向けおすすめ本リストの ▽YAコーナー、YAルームPF	)作成・案内	▽学校でのブック	なびボランティフ フトーク等のPF レボランティアフ ストやYAコーナ	アの積極的な受入れ R 及び実施 ステップアップ講座等によるボランティアのス ナーの P R				
			1					
R 6年度における事業の位置化	寸け	1		付けの詳細と今後の方向性				
A 重点化・拡大して継続		-	楽しみ、読記るため、府中	書環境を整備することにより、子どもが本を 書する力を身に付け、人生をより豊かに生き 中市子ども読書活動推進計画に基づいて事業				
B 現状のまま継続	い(右欄に理由を具体的に記載)	В	を進め、子と	どもの読書活動の推進を図る。				
	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	l D						
	能(右欄に理由を具体的に記載)	=						
 C 見直して継続	1 見直し・縮小		1					
	2 他事業との整理・統合	-						
D 休止・廃止等	1 休止	1 1						
	2 廃止	]						

	情以手				中 桒		R 4年度		R 5年度	
	会計	款	項	目	事 コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	50	30	15	1559100	子ども読書活動推進計画策定費			116, 000	
2	01	50	30	15	1563000	児童・青少年サービス事業費	593, 000	512, 614	587, 000	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	593, 000	512, 614	703, 000	

 記載年月
 令和5年9月

 対象年度
 令和 4年度

### 1 事務事業の概要

	- 予切予不必恢文									
事	務	事業	〔名	<b>ハンディキャップサービス事業</b>	00					
概			要	舌字による読書や、印刷されたものをそのまま利用することが困難な方、図書館への来館が困難な方などへ様々なサービスを実施する。						
総	슴	基本	施策	2     生涯にわたる学習活動の推進       主担当部課名       文化スポーツ部図書館						
計		施	策	42     図書館サービスの充実         事業類型     任意事業						
		事業種	重別	その他の事務事業 事業開始年度 ~ 見直しの裁量 市に事業見直しの裁量あり						
根	拠	法令	法 令 等 図書館法、府中市立図書館条例、府中市立図書館条例施行規則、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律							
国:	強軸	切化地均	計画	亥当なし <b>交付金・補助金等の申請</b> 該当なし <b>交付金・補助金等の名称</b>						
対			象	通常の図書館利用が困難な利用者						
事	業	1 目	標	健常者だけではなく、高齢者や障害のある方を含め、すべての利用者が、図書館サービスを享受できるようにすること。						
事	業	▼ 内 容   ▽ 点字や大活字、デイジー図書などの録音図書第図書館資料の選定・購入・提供 ○サービスや資料の P R ○ ボランティアとの協働及びステップアップへの補助 ○ ディジー図書や布の絵本等の作成 ○ 来館困難者への資料の宅配								

### 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値						計画値	実績の評価(計画・実績の差異							
担保石	(単位)		R 4年度 R 5		R 6年度	R 7年度	凹凹	の有無と差異の要因分析)							
	200	計画値	180	215	230	245	245	要因の類型(※)							
<ul><li>① 宅配回数</li></ul>	200		100	210	230	240	240	1	2	3	4	5	6	7	8
	口	実 績	268	-	-	-	-		$\square$						
要因の具体的内容	2月はシステ	ム更新・改修	に伴い休止し	たが、多くのフ	ちの利用があり	)、目標を上回	]った。								
	5, 900	計画値	F 000	C 000	6 100	6 900	C 900			要因	]の業	頁型(	(X)		
②所蔵資料数	5, 900		5, 900	6, 000	6, 100	6, 200	6, 200	1	2	3	4	5	6	7	8
<b>◎</b> // / / / / / / / / / / / / / / / / /	数	実 績	5, 908	-	-	-	-								
要因の具体的内容	予定どおり資	料の購入を進	<b>生めた。</b>												

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 事業**春・人件春等の推移** (単位:円、人)

・ 事来質・人件質等の推移								
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	
事業	.費)							
	当 初 予 算 額	1, 080, 000	1, 234, 000	1, 158, 000	0	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	1, 080, 000	1, 234, 000	1, 158, 000	0	0	0	
	予 算 現 額	1, 080, 000	1, 234, 000	0	0	0	0	
	決 算 額	965, 460	1,070,052	0	0	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	965, 460	1,070,052	0	0	0	0	
	執 行 率	89.4%	86.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
人件	-費)							
	職 員 数	3. 30	2. 10					
	職員人件費	25, 854, 863	16, 798, 574					
月	額制会計年度任用職員数	0.7	0. 5					
月	額制会計年度任用職員人件費	2, 274, 084	1, 609, 058					
間接	経費)							
	間 接 経 費	0	166, 807					
-	総コスト	29, 094, 408	19, 644, 491	0	0	0	0	

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 3年度実績(Do)		R 3年度評価(C	heck)	評価内容 B 現状のまま継続
▽対面朗読 98回 ▽録音図書作成 7タイトル ▽宅配 18人、211回・郵送 14 ▽音訳・対面朗読ボランティア剤 ▽特集展示の実施		▽「きずな」での	絵本展示は新型	感染拡大防止対策を施しながら実施した。 コロナウイルスのため中止したが、昨年度とて特集展示を実施した。
□ □ A 重点f		<u> </u> 直し □ D 休	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R 3年度評価に基づく見直し (Action)
R 4年度の具体的な取組(Pla		R 4年度の方向性		11 0千及計画に至りて見直し (1001011)
▽対面朗読の実施 ▽録音図書・布絵本の作成 ▽宅配貸出・郵送貸出の実施 ▽音訳・対面朗読ボランティアの	)養成 絵本の展示、「弱視者・中途視覚障害者のた	▽国や都の動向に ディキャップサー ▽必要な方にサー 利用者ニーズに沿 ▽音訳・対面朗読	注視しながら、 注視しながら、 だれの提供を届く だった資料をを提い になるない。 になるない。 注明を になるない。 には、 にない。 にない。 にない。 にない。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	ように、引き続きPR活動を行うとともに、 守るために選書を行う。
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(C	Check)	<b>評価内容</b> B 現状のまま継続
▽対面朗読 204回 ▽録音図書作成 13タイトル ▽宅配 19人、268回・郵送 15 ▽音訳・対面朗読ボランティア者 ▽特集展示の実施		▽中央図書館休館 した。 ▽「きずな」での		15年1月末まで対面朗読を教育センターで実施 ぶりに実施した。
□ A 重点f	L・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	・ 直し D 休	止·廃止 R	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向性	生 (Plan)	
▽対面朗読の実施 ▽対面朗読の実施 ▽は書いった。 本部 では、	6絵本の展示、「弱視者・中途視覚障害者のた	▽必要な方にサー 利用者ニーズに沿 ▽音訳・対面朗読	ìった資料を提供	ように、引き続きPR活動を行うとともに、 するために選書を行う。 養成に注力する。
R 6年度における事業の位置(	+14		事業の位置も	けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	y ()		図書館に来館	こしたり、通常の図書館資料では利用が困難
B 現状のまま継続			<ul><li>大活字、デイ</li></ul>	楽しんでいただくため、引き続き、点字や ジー図書などの録音図書等の図書館資料の 提供、宅配サービスなどを行う。また、サ
	い(右欄に理由を具体的に記載)	B	ービスを実施 き注力する。	するために、ボランティアの養成に引き続
2 見直しには法令等の改				
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
	2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止	1		
	2 廃止			
	3 完了			

<u> </u>	情以争未 <sup>一</sup> 見				1		(単位:円)		
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 4: 当初予算額	年度 決算額	R 5年度 当初予算額
1	01	50	30	15		ハンディキャップサービス事業費	1, 234, 000	1, 070, 052	1, 158, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	1, 234, 000	1, 070, 052	1, 158, 000